

「診療ガイドライン」 作成に関わる皆さまへ

患者・市民参加の手引き

Minds

Minds(マインズ)は、厚生労働省委託事業：EBM(根拠に基づく医療)普及推進事業の愛称です。当事業は公益財団法人日本医療機能評価機構が運営しており、診療ガイドラインの作成支援、評価選定・公開、活用促進、患者・市民の支援を中心に活動を実施しています。



厚生労働省委託事業：EBM普及推進事業 Minds(マインズ)

患者・市民専門部会



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

本冊子について

- 本冊子は患者や市民、医療者の方々に以下の内容を知っていただくことを目的に作成しました。
 - ▶ 「診療ガイドライン」作成に患者・市民が参加する必要性
 - ▶ 「診療ガイドライン」作成における患者・市民の役割
- 「患者・市民」とは、医療関係者ではない一般の方のうち、以下の方々を想定しています。
 - ▶ 疾患や障がいがある方（あった方）
 - ▶ 患者を支援する立場にある方（あった方）
 - ▶ 上記に該当しない一般の方
- 本冊子の内容は、考え方の一例を示したものです。実際の「診療ガイドライン」作成では、それぞれの状況で取り組み方が変わる場合があります。
- より詳細な内容については以下の資料をご参照ください。

「診療ガイドライン作成への患者・市民の参加」の基本的な考え方
<https://goo.gl/F7qrPx>



目次

私たちが目指す治療方針決定のあり方とは？……………	4
「診療ガイドライン」の活用	
「診療ガイドライン」は誰がつくるのですか？……………	5
なぜ、私たちが参加するのですか？……………	6
私たちはどんなことをするのですか？……………	8
準備することや必要な資格は？……………	10
悩んだとき・困ったときは？……………	11
素朴な疑問・質問にお答えします……………	12
関連資料集……………	14



私たちが目指す治療方針決定のあり方とは？

「診療ガイドライン」の活用

こんな時、「診療ガイドライン」が役立ちます！

どんな治療がある？

治療の選択肢は？

生活に影響は？

治療に伴うリスクは？



患者さん



医療者

「診療ガイドライン」とは

- 最善の治療法などを『推奨』という形で示した資料
- 医学的根拠と患者の価値観や希望などを基に作成

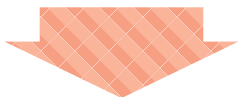


「診療ガイドライン」を参照し、
共に治療方針を考える！

「診療ガイドライン」は誰が作るのですか？

いままで

医学的な観点で医療者が
「診療ガイドライン」をつくるが多かった



これから

患者の価値観や希望も入れて、
患者・市民と医療者がいっしょに
「診療ガイドライン」をつくる！



なぜ、私たちが参加するのですか？

患者・市民の視点

医療者が気づきにくい疑問や、見落とす可能性がある重要な点などを伝えることで、より良い「診療ガイドライン」にできることが期待されています。

患者・市民の視点で、主に以下のような意見が求められます。

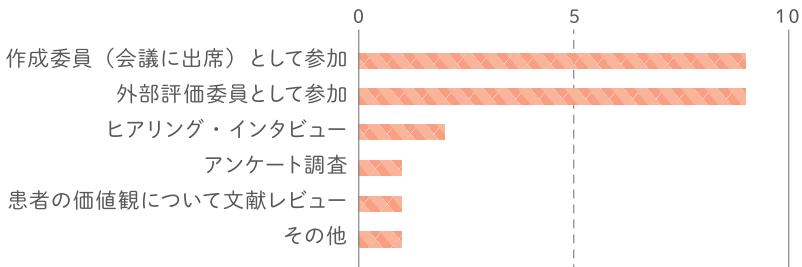
- 患者・市民が抱く疑問・不安
- 患者・市民が治療や検査において望むもの
- 治療や検査の受け入れやすさ
- さまざまな治療や検査が、患者・市民の生活に与える影響
- 診療ガイドラインに盛り込むべき内容
- 診療ガイドラインの一般の方向けの解説に盛り込むべき内容
- 患者・市民が理解しやすい内容にするための工夫



患者・市民参加の現況

診療ガイドライン作成への患者・市民の価値観・希望を取り入れるための取り組み状況

2016年8月5日の時点で、Mindsガイドラインライブラリに掲載されていた診療ガイドラインの作成グループの代表者112名に質問紙を送付し、77名より回答を頂きました。そのうち、「患者・市民参加に関する取り組みあり」と答えた19名の方にどのような取り組みをされたかお聞きました。



診療ガイドライン作成に参加された方の声

患者Aさん

普段感じている疑問や悩みをお伝えすることで、役に立つことができよかったです。



市民Bさん

医療者が、真摯な姿勢で診療ガイドライン作成に臨んでいることが実感できました。



私たちはどんなことをするのですか？

「診療ガイドライン」作成の流れ

1

作成方針決定

- 作成目的やメンバーなどを決定します。
- メンバーは依頼もしくは公募にて集められます。
- ガイドライン作成団体である学会や研究会などの代表者が関わります。

2

スコープ作成

- スコープとは診療ガイドライン作成の企画書です。
- 重要な疑問（臨床的クエスション）を設定します。
- 会議参加者は10～20名程度です。

3

システマティックレビュー

- 臨床的クエスションを基に、重要な医学的根拠などを集め、吟味し、結果をまとめます。

私たちが参加する場合

応募・承諾

作業内容を確認し、応募もしくは依頼を承諾します。

準備

配布資料などを読み、わからないことを調べたり、質問をします。

スコープへの意見

会議もしくはメールで、受ける診療方法を選ぶ上で、感じたことや疑問、重視すべきことなどを伝えます。

ここでは、ガイドライン作成グループの一員として、会議に参加する場合を紹介しています。
(患者・市民として、一部の過程のみに参加する場合があります)

作成の大きな流れの一例です。詳細は Minds ガイドラインライブラリ内の「よくわかる診療ガイドライン」<https://goo.gl/JJqyXh>をご参照ください。



4

推奨作成

- システマティックレビューの結果などを基に、臨床的クエスチョンへの答え(推奨)を作成します。



推奨への意見

推奨の内容と理由が納得できるか考え、会議もしくはメールで意見を伝えます。

5

最終化

- 診療ガイドラインの草案ができた時点で、作成団体以外の方から意見を募集(外部評価)します。
- 診療ガイドライン最終案を決定します。



診療ガイドライン草案への意見

診療ガイドライン草案に関する意見を、会議もしくはメールで伝えます。
*作成グループの一員としてではなく、外部評価者として意見を伝える場合もあります。

6

公開・普及 ・改訂準備

- 必要に応じて、患者・市民向けの解説を作成します。
- 公開し、改訂(約3~5年後)に向けて準備を始めます。
- 普及や効果検証の取り組みを行います。



活用・普及活動・改訂への意見

診療ガイドラインの活用・普及に向けた活動を行います。
患者・市民向けの解説を作成する場合、意見を伝えます。
次回の改訂に役立てるよう、気づいた事を担当者に伝えます。

準備することや必要な資格は？

参加に必要な時間・費用と作業内容

参加に要する時間や費用などは「診療ガイドライン」作成団体の方針によって大きく異なります。詳しくは担当者に確認しましょう。

以下に一例を記載します。

- 年3～4回の会議参加（2～3時間 / 回）
- 会議毎に事前配布資料の確認（A4用紙10枚程度）
- 交通費は実費支給

特別な資格は必要ありません

患者・市民としての価値観や希望を伝えることが望めます。

Mindsでは、参加の心構えや基本的な知識について学ぶ教材のご紹介やセミナーの開催を予定しています。

詳しくは、P.14の「関連資料集」をご参照ください。

悩んだとき・困ったときは？

Mindsガイドラインライブラリ内のお問い合わせコーナーにて、ご相談を受け付けています。以下のURLから、お問い合わせフォームに入力してください。

Mindsガイドラインライブラリ お問い合わせフォーム

<https://goo.gl/eUUpkd>



診療ガイドライン作成者（医療者）の 声

医療者Cさん

患者さんが何を重視するか、医療者と患者さんの考えは、時に大きく異なることがあります。そのため、「診療ガイドライン」の作成に患者さんや一般の方が参画することが必要だと思います。



医療者Dさん

患者・市民と医療者が共に診療ガイドラインを作る時代になりつつあります。より良い「診療ガイドライン」にするために、ぜひ多くの方に関心を持っていただくことを願っています。



素朴な疑問・質問にお答えします

Q どうして私たちが参加するのですか？

医療者が思いつかない重要な疑問や、わかりにくい表現等を伝えることで、より良い「診療ガイドライン」にできることが期待されているからです。

Q 医学に関する資格や知識はないのですが、参加できるのですか？

特別な資格や知識は必要ありません。患者・市民の視点で意見を伝えていただくことが大切です。



Q どんなことをするのですか？

さまざまな関わり方があります。会議に参加して意見を伝えたり、資料を読んでメールなどで意見を伝えたりすることもあります。

また、「診療ガイドライン」の一般の方に向けた解説作成に関わることもあります。

Q どのようにすれば参加できますか？

「診療ガイドライン」の作成団体や患者会のウェブサイトで募集することがあります。

今後、Mindsでも募集情報を紹介する予定です。

関連資料集

Mindsガイドラインライブラリ

- 患者・市民向け情報 -

診療ガイドラインを活用する際に参考となる情報や「診療ガイドライン」の作成に参加する際に参考となる情報を紹介しています。

<https://goo.gl/YFTLyc>



「診療ガイドライン作成への患者・市民の参加」の基本的な考え方

診療ガイドラインへの患者・市民の参加に関するMindsの考えを紹介しています。

<https://goo.gl/F7qrPx>



「よくわかる診療ガイドライン」

診療ガイドラインについてわかりやすく解説しています。

<https://goo.gl/JJqyXh>



「診療ガイドラインに患者・市民の声を」

患者・市民参加を呼びかけるためのリーフレットです。

<https://goo.gl/VtCSsj>



「Minds診療ガイドライン作成マニュアル」

Mindsが提案する診療ガイドラインの作成方法を紹介しています。

<https://goo.gl/JBJQH6>



Minds(マインズ) ガイドラインライブラリ

日本の診療ガイドラインやその解説などを紹介しています。
診療ガイドライン作成に関わる方向けの情報も公開中です。



URL: <https://minds.jcqhc.or.jp/>

マインズ ガイドライン 検索



【お問い合わせ先】

公益財団法人 日本医療機能評価機構 EBM医療情報部

Tel: (03)5217-2325 E-mail: minds.help@jqcqh.or.jp

この冊子に関するご意見・感想等もお寄せください。

*Minds (マインズ) は、厚生労働省委託事業：EBM(根拠に基づく医療)普及推進事業の愛称です。当事業は公益財団法人日本医療機能評価機構が運営しており、診療ガイドラインの作成支援、評価選定・掲載、活用促進、患者・市民の支援を中心に活動しています。